



お友達達が自信を持って怖からずに生きていくには、「自分は愛されている」という実感が必要です。親から、「満足されている、愛されている」という実感は、お友達達の大きな自信へと繋がっていくのです。「〇〇が出来るから、すっぴん」とか、人と比較されることは、お友達達にとって、お母さん、お父さんから満足されているという思いには、「おれ」ではありません。例えば、走るのが速いから、すっぴんなのでしょうが、それではありません。「あんなに良いおれ、泳ぐのが出来たおれ」という欠点ばかりを見るのではなく、「おれ、とっぴん、あんなには、このままでもいいんだよ。」と、お友達達のありのままの姿を愛しく思い、受け入れてあげて下さい。その親の思いが、「私は、このままでもいいんだ」という安心感に「おれ、自信へとつながり、どんな事にもくじけず、失敗を怖からずに歩いていける力と「おれ」の思いです。お友達達の良い所探しをしてあげましょう。

45名のお友達達一人一人、良い所が1つは必ずあります。みんなでお互いの良い所を、しっかりと認めてあげましょう。

